

システム会社のためのソフトウェア取引の収益計上基準入門（4119076）

システム会社のためのソフトウェア取引の収益計上基準入門－会計・税務・IFRSからの検討－

本セミナーは情報子会社等、システム等を提供する側の立場に立ったコンピュータソフトウェアの開発を中心とした収益計上基準について、会計と税務、IFRSの面から検討していく入門セミナーです。

| | |
|----------|---|
| 開催日時 | 2019年9月10日(火) 10:00-17:00 |
| カテゴリ | 共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル |
| 講師 | 南俊基 氏 （南公認会計士事務所 代表 株式会社ビジネスアーツ 代表取締役 公認会計士） 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了（経営学修士） 監査法人トーマツにて、会社更生法会社の監査や財務調査に従事する。 ソニー株式会社100%出資の経営戦略コンサルティング会社ジェンシスコンサルティング株式会社にて 事業戦略の立案等に従事する。財務省理財局にて財政投融资監査業務に従事する。 バイオベンチャーのテラ株式会社にて、創業時から監査役を務め、2009年にJASDAQ市場に上場する。 現在は南公認会計士事務所の代表として、メーカー、IT企業、バイオベンチャー企業等に対して、 事業戦略、財務戦略、コスト管理に関するコンサルタントとして活躍している。 あわせて企業向けに財務、管理会計の研修を数多くこなしている。 総合辞書サイトJLogosを運営するエア株式会社の取締役も務める。 公認会計士、税理士、日本証券アナリスト協会検定会員 |
| 参加費 | J U A S 会員/ITC：33,000円 一般：42,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】 |
| 会場 | 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階） |
| 対象 | システム開発等に携わるマネージャー等、営業担当者、新任の経理担当者 初級 |
| 開催形式 | 講義 |
| 定員 | 30名 |
| 取得ポイント | ※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント） |
| ITCA認定番号 | ITCC-CPJU9291 |
| ITCA認定時間 | 6 |

主な内容

第1部 ソフトウェアの収益計上に係る会計と税務（10:00-13:00）

（1）総論

- ・ソフトウェアの収益計上のための要件
- ・ソフトウェアの収益計上ができない可能性がある場合

（2）パッケージソフトウェア

- ・ライセンス販売（有期の場合と期間の定めのない場合の取り扱い）
- ・販売代理店、卸売業者や小売店に販売する場合
- ・その他の取引

【事例研究1】パッケージソフトウェアの会計処理

（3）受注制作ソフトウェア

- ・契約形態（請負、準委任、SES、派遣等）別の収益計上の留意事項
- ・進行基準と完成基準

【事例研究2】工事進行基準と工事完成基準

- ・仕様の変更、契約金額の変更の取り扱い
- ・その他の取引

【事例研究3】受注制作ソフトウェアの会計処理

(4) クラウドサービスで提供するソフトウェア

- ・クラウドサービスで提供するソフトウェアの処理方法
- ・初期設定費用の取り扱い

(5) その他の論点

- ・複合取引
- ・収益の総額又は純額計上
- ・トレーニングサービスや保守サービス
- ・アフターコスト、機能追加や仕様変更が発生する場合
- ・その他

昼食 (13:00-14:00)

第2部 ソフトウェアの収益計上に係る IFRS の取り扱い (14:00-17:00)

(1) 収益認識 IFRS 第15号の概要

(2) 収益認識基準の相違点まとめ

(3) IFRSの売上に関する会計基準の変遷

(4) IFRSがソフトウェア取引に及ぼしうる影響と課題

(5) 事例に基づくIFRS第15号適用に伴う会計処理の解説

- ・仕様の変更、契約金額の変更の取り扱い
- ・複合取引
- ・従量制のクラウド利用料
- ・クラウドサービスにおける初期設定費用
- ・ライセンス販売
- ・システム開発に係る収益認識（進行基準）等